



システム審査部発行

〒101-8986 東京都千代田区神田錦町 1-9

TEL 03-5283-0476

FAX 03-5281-2827

ホームページ <https://www.bcj.or.jp>Eメール sinsa@bcj.or.jp

ISOだよりの所有権はシステム審査部に帰属します



「2019年度 第1回ISO情報交換会」を開催致しました

一般財団法人 日本建築センター システム審査部 (BCJ-SAR) では、認証組織の皆様がマネジメントシステムを効果的に運用して頂くために有用な情報をご提供する場として、毎年「ISO 情報交換会」を開催しております。今回は、次の内容で開催致しました。

「2019年度 第1回 ISO 情報交換会」の内容

- パフォーマンス評価の効果的な運用について
- パフォーマンス評価と改善の事例交換 (運用事例の情報交換)
- 2015年版審査方針及び規格解釈 (パフォーマンス評価)
- QMS/EMS 運用に関わるご質問・要望事項
【講師：宮岡 賢二】

<開催日程>

2019年9月6日 (大阪)

2019年9月10日 (東京)

2019年9月11日 (高崎)

■ パフォーマンス評価の効果的な運用について

「パフォーマンス評価の効果的な運用について」では、講師の宮岡審査員から『監視・測定、分析・評価～改善の仕組み』〈参考1〉参照)、『監視、測定の対象の決め方 (施工プロセス)』〈参考2 参照〉、『分析、評価の考え方』〈参考3 参照〉等について説明しました。

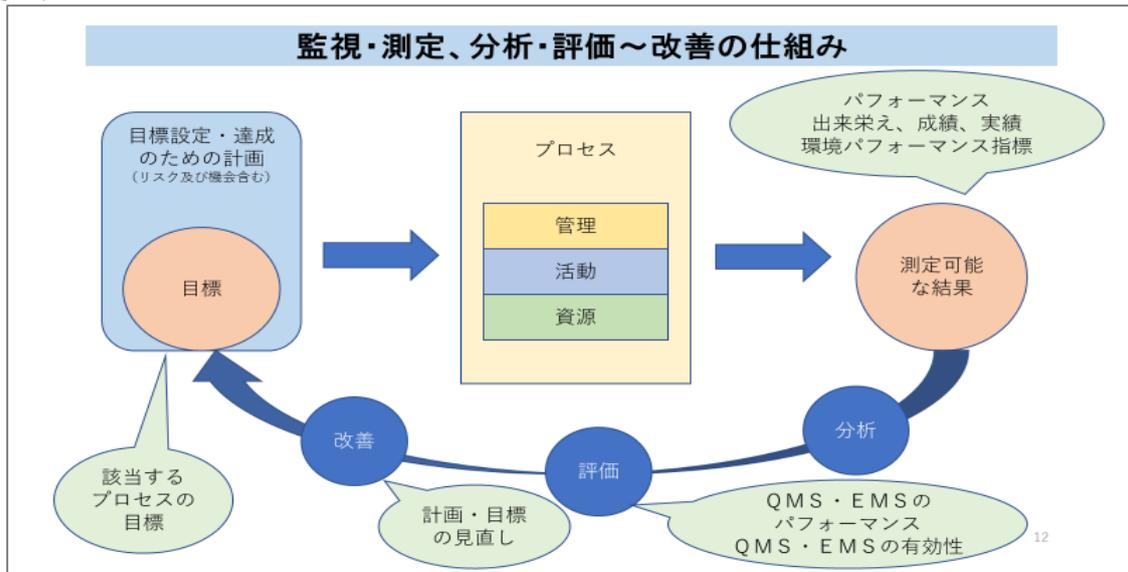
今回、ご参加頂くことができなかった認

証組織の皆様方には、ISO 情報交換会で配付した『パフォーマンス評価の効果的な運用について』を後日配付させていただきます。今後の「パフォーマンス評価」の取組みにおいて参考になるかと思しますので、是非ご一読下さい。

《主な質疑応答》

- Q: パフォーマンス評価結果からの改善に繋げる内容は、トップマネジメントの指示を仰いだうえで改善へ繋げているが、問題ないか。
- A: 問題ない。例えば、管理責任者が改善に繋げたい内容を抽出し、トップマネジメントの指示を仰ぐという方策もある。
- Q: 検査記録の承認印が電子媒体となっているが、問題ないか。
- A: 問題ない。審査では、監視・測定の分析及び評価結果を確認する。
- Q: 外注業者の力量は、「9. パフォーマンス評価」により管理することで良いか。
- A: 外注業者の力量の管理は、パフォーマンス評価を行い管理していくことで良い。
- Q: 社有車のガソリン総消費量をパフォーマンス評価 (EMS) しているが、施工現場の場所によって消費量の差が顕著になるため、良い管理方法はないか。
- A: 燃費で管理している組織が多く、エコ・ドライブの管理手順を履行し、消費量を減らす方法等がある。

〈参考1〉

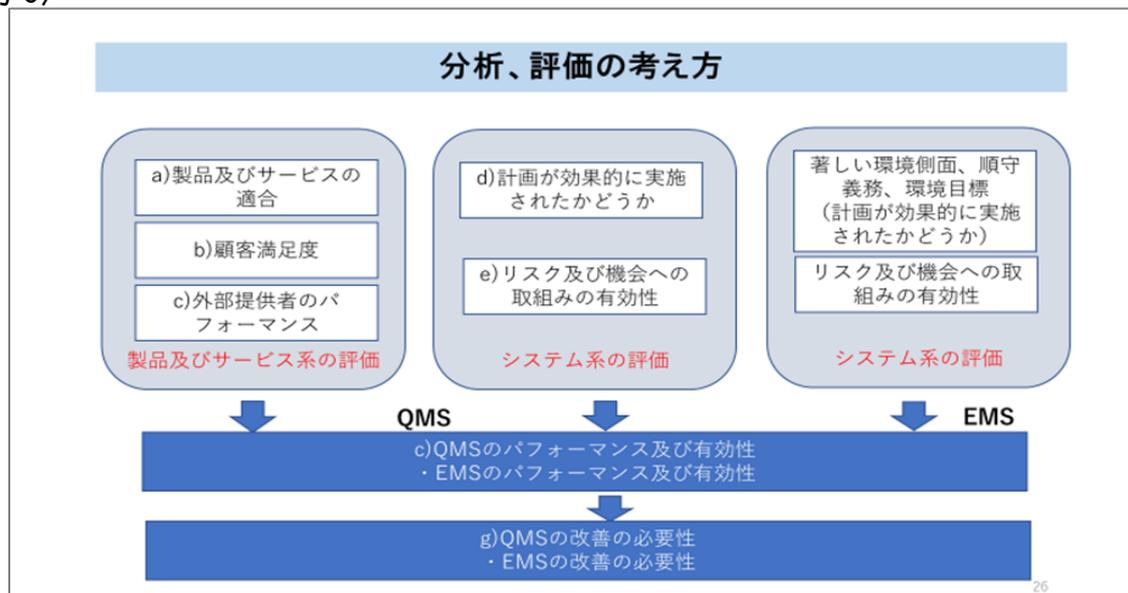


〈参考2〉

監視、測定の対象の決め方

施工プロセス			
P		プロセスの目標の明確化 プロセスの計画	
D	施工プロセス (8.5)	P	製品・サービス、環境の目標設定・展開 施工管理者の力量 施工計画書 (要求事項のインプット)
		D	施工管理 環境運用管理
		C	検査、試験 (受入検査、工程内検査) 著しい環境側面、順守義務の監視、測定
		A	施工計画の変更 不適合製品の管理、環境の不適合
C		プロセスの監視・測定	
A		プロセスの改善、是正処置 プロセスの目標の見直し (リスク及び機会への取組み)	

〈参考3〉



■パフォーマンス評価と改善の事例交換 (「監視、測定」の対象事例、「分析及び評価」の結果から改善された運用事例の情報交換)

「パフォーマンス評価と改善事例」をテーマとした情報交換では、ご参加の認証組織の方々が使用されている次の情報をご提供頂き、情報交換を行いました。

- ①「監視、測定」の対象事例
- ②「分析及び評価」の結果から改善された事例

《主な質疑応答》

- Q: マネジメントレビュー前に監視、測定の分析を行い、評価した方が良いのか。
A: そのとおりである。監視及び測定の結果は、マネジメントレビューへインプットする必要がある。

■2015年版審査方針及び規格解釈 ～パフォーマンス評価～

規格要求事項に対する審査員の判断基準の統一を目的としたシステム審査部の規程から、「9. パフォーマンス評価」に係る審査方針及び規格解釈について、審査で確認する内容(4～5頁参照)を中心に説明しました。

■QMS/EMS運用に関わるご質問・要望事項

今回のISO情報交換会では、参加組織の方々から事前に質問・要望事項をご提示頂き、次の内容について、交換会当日に説明しました。

《主な質疑応答》

- Q: パフォーマンスとは、どういう意味か。
A: 各プロセスの計画した「測定可能な結果」の成果に対する達成度を指す。
Q: 9.1.1に「監視・測定が必要な対象」とあるが、対象としなければならない「基準」はあるか?
A: 基準はないが、9.1.3のa)～g)項を評価するために必要な監視、測定が要求され

ている。

- Q: 監視、測定の結果は、目標で管理することによいか。
A: 目標で管理することによい。但し、規格では、必ずしも目標で管理することを求めている。
Q: 9.1.3 分析及び評価の、「組織は、監視及び・・・評価しなければならない。」の評価は、a)～g)について有効性の評価をするということか?それとも、c)に限ってのことか。
A: c)に限ってのことではなく、9.1.3 a)～g)の全ての評価が必要である。
Q: 分析及び評価する 9.1.3 a)～g)と 9.3.2 マネジメントレビューへのインプット a)、b)、c) 1)～7)、d)、e)、f)の繋がりはあるのか。
A: 繋がっている。
Q: 建設会社における QMS の「リスクと機会」について、どのような事例があるか。
A: 既に配付している「JIS Q 9001:2015の概要と解説【2019改訂】」の中に建設業、製造業及び設計事務所のリスク及び機会(例)を提示している。

「2019年度第1回ISO情報交換会」に関する総括

今回の「ISO情報交換会」では、意見交換、質疑応答が行われ、情報交換会終了後、今回の内容は、大いに参考になったとのご感想を多数頂きました。

次回の「ISO情報交換会」は、2020年3月の開催を予定しております。内容等決まりましたら、改めてご案内致しますので、奮ってご参加下さい。



2015年版審査方針及び規格解釈

[9.1 監視、測定、分析及び評価] 【QMS】

組織が決めること

何を監視、測定の対象とするのか

どのような方法で監視、測定、分析及び評価をするのか、どの段階で監視、測定を行うのか

審査では・・・

- ①監視、測定の対象及び方法についての説明を求めます。
- ②9.1.3の分析及び評価の要求事項を満たすようになっているかを確認します。

- ①これらについての説明を求めます。
- ②該当する場合は「文書化した情報」によって要求事項を確認します。



BCJ-SAR

2

2015年版審査方針及び規格解釈

[9.1 監視、測定、分析及び評価] 【QMS】

QMSのパフォーマンスとは

- ・品質に関する測定可能な結果のことで、顧客満足度の監視・測定結果、製品の監視・測定結果(不良率、クレーム実績)などがあります。

QMSの有効性とは

- ・品質方針に沿った品質目標の達成の程度です。
- ・審査では、計画(9.1.1 b)項及び6.2.2 e)項)で定めた評価方法により、どのように評価したかを「文書化した情報」などによって確認致します。



BCJ-SAR

3

2015年版審査方針及び規格解釈

[9.1.3 分析及び評価]

審査では・・・

- ・(1)9.1.1で計画した監視、測定結果のパフォーマンスデータを、計画した方法で分析、評価しているか、また、分析及び評価からのアウトプットをどのように、次のa)～g)を行うために使用されたかを、確認します。
- ・(2)9.1.3のa)～g)は、すべて評価していることを確認します。
 - a) 製品及びサービスの適合
 - b) 顧客満足度
 - c) QMSのパフォーマンス及び有効性
 - d) 計画が効果的に実施されたかどうか。
 - e) リスク及び機会への取組みの有効性
 - f) 外部提供者のパフォーマンス
 - g) QMSの改善の必要性



BCJ-SAR

4

2015年版審査方針及び規格解釈

[9.1.3 分析及び評価] [9.3 マネジメントレビュー (9.3.2 マネジメン トレビューへのインプット)]

審査では・・・

- ・「9.1.3 分析及び評価」からのアウトプットが、マネジメントレビューのインプットとして含まれていることを確認します。
- ・(参考)「分析及び評価」のアウトプットは、「10.3 継続的改善」における、継続的改善に取組まなければならない必要性又は機会があるかどうかの情報として利用することとなる。



BCJ-SAR

5

2015年版審査方針及び規格解釈

[9.1 監視、測定、分析及び評価] [EMS]

組織は・・・

- ・9.1.1 a)で決定した監視及び測定の対象のうち、可能な場合には監視、測定、分析、評価のそれぞれの方法(該当する場合は基準及び適切な指標を含む)及び実施時期を決定しなければならない。

審査では・・・

- ・必要な監視、測定の対象と時期が決まっているか、監視、測定、分析及び評価の方法、環境パフォーマンスを評価するための基準及び指標、監視、測定の結果の、分析評価の時期が決定され、実施されているかを確認致します。

(参考)

監視及び測定の対象を考慮する時、環境目標の進捗のほかに、監視し測定することが望ましいものを決定するとき、組織は、著しい環境側面、順守義務及び運用管理を考慮することが望ましい。
(アンダーライン：附属書A.9.1.1より)



BCJ-SAR

6

2015年版審査方針及び規格解釈

[9.1.2 順守評価] [EMS]

「6.1.3 順守義務(環境側面に対応する順守義務)」で明確にした「**順守義務**」を「9.1.1 一般」で監視・測定し、「9.1.2 順守評価」で順守を評価する頻度の決定を行う。



「9.1.2 順守評価」



BCJ-SAR

7

● 2019年度認証判定会議の日程は
下記のとおりです ●

2019年	10月23日(水)
	11月27日(水)
	12月25日(水)
2020年	1月22日(水)
	2月26日(水)
	3月25日(水)

【お問合せ先】

一般財団法人 日本建築センター
システム審査部
TEL：03-5283-0476
FAX：03-5281-2827
E-mail：sinsa@bcj.or.jp

「2019年度 ISO 内部監査員養成セミナー」のご案内

ISO のシステム構築と運用に当たって最も大切なことは、核となる人材を組織内に育成することです。

認証機関との打ち合わせ、審査への対応、審査で指摘された不適合の是正処置及び回答等、組織内に対応できる人材を育てる必要があります。当財団では、ISO 9001（品質）・14001（環境）の社内的定着を図るための核となる人材を育成するためにセミナーをそれぞれ開催しております。受講された方には修了証を交付します。

※出張講習についてご希望の場合は、ご相談下さい。

		ISO 9001（品質）コース	ISO 14001（環境）コース
開催日 (2日間)	東京	2020年1月30日(木)～31日(金)	2020年度に開催予定
プログラム	1日目	規格解説、考査	規格・環境法令の解説、考査
	2日目	内部監査手順の解説・演習、考査	内部監査手順の解説・演習、考査
※ 1日目だけ又は2日目だけの受講も可能です。 ※ お申し込みは10月下旬から受付予定。			
受講料	2日間：	[BCJ 認証組織] 41,900 円（税込み）	
	1日目又は2日目のみ：	[BCJ 認証組織] 21,200 円（税込み）	
※ 受講者全員にオリジナルテキスト付。なお、ISO 規格書は別途ご購入下さい。			
定員	20名		
主催	一般財団法人 日本建築センター 情報事業部		
お問合せ先	草原・岡林あて TEL：03-5283-0477 / FAX：03-5281-2828 / E-mail：kusahara_e@bcj.or.jp		